

事務事業名	ゆたか団地駐車場支援事業		所属部局	建設部		単位番号	7084							
			所属課室	建築住宅課		課長名	小林 正吾							
			所属担当	市営住宅担当		担当者名	川崎 夫次雄							
基本政策	基本計画体系	15	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		25	市街地・住環境の整備		01	一般	0	8	0	5	0	1	0	2
政策			住環境の整備	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
施策														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度)			法令根拠										
	☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度)													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市営ゆたか団地は、他の同規模の団地と比較すると敷地面積が狭く、敷地内の道路も市道として認定されている。違法駐車や交通事故等を未然に防ぐため、駐車場組合が、駐車場用地として近隣に借地している土地の借地料に対し、補助金を交付する。				事業費の主な内訳 (22年度)									
					項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)			
					その他の補助金		156							
									計		156			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	1,000円×13台×12ヶ月=156,000円
23年度活動予定	無し(22年度でこの事業は終了した)
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
駐車場管理組合加入台数	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
違法駐車、交通事故等を未然に防止する。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安全・安心な住環境(住環境の整備)	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 契約者数	人
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 駐車場利用台数	台
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 違法駐車件数	件
イ 交通事故件数	件
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 交通事故件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円	156	156					
			一般財源	千円							
	事業費計 (A)			千円	156	156	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数		人	1	1					
		延べ業務時間		時間	10	10					
		人件費計 (B)		千円	45	45	0	0	0	0	0
		(A) + (B)		千円	201	201	0	0	0	0	0
活動指標			人	12.0	12.0						
			人								
対象指標			台	13.0	13.0						
			台								
成果指標			件	0.0	0.0						
			件	0.0	0.0						
上位成果指標			件	0.0	0.0						
			件								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧櫛形町時代に町が窓口になり、組合が設立された。その後組合と地主が借地契約を交わし、組合が駐車場として管理を開始した。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	ゆたか団地ばかりでなく、他の市営団地も建築当時の公営住宅法に従う形で、駐車場というような場所は確保されていない。ゆたか団地に建設当時の事情、他の団地との敷地の状況の違いがあるからといって、ここだけ事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？
	契約台数が年々減少している。このため、駐車場組合の運営が難しい状況となってきた。空き家が多くなってきているので、住み替え等により、駐車場の整備をしてほしい。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☒ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	駐車場の整備については、国の通達により全国的に有料化が進んでいる。県においても要綱を整備し、利用料の徴収をはじめた。この補助金については他団地との不公平感があり、補助制度自体維持するのは難しい。
H 22年度に実施した改革改善の内容	平成22年度の当初予算財政課査定時に、廃止について検討した。また組合側にも、この補助金はなくなる可能性があることを伝えた。

事務事業名	ゆたか団地駐車場支援事業	所属部	建設部	所属課	建築住宅課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☐ 結びついている 【理由↓】 この団地のみに交付する市単独補助金となっており、他団地との公平性に欠ける。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 妥当である 【理由↓】 他団地において駐車場が必要になった場合、自動車の所有者(入居者)が、自分自身で近隣に駐車場を確保している。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 適切である 【理由↓】 この補助事業を維持して行くとするれば、全ての団地に補助金を出さなければ不公平になる。しかしこの補助金自体が好ましいものではなく、国の駐車場整備のための通達に反する事業にもなりかねない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 交通事故等の連絡は数年来全くなく、また、団地敷地内の空スペースを駐車場代わりに利用している入居者もいる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 現在駐車場を利用している入居者は、利用料が値上げされ、ゆたか団地の周囲にも民間駐車場があるので、他の団地と同じように、個別に確保することは可能である。	☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由↓】
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 現在ゆたか団地は入居募集を停止している団地であり、駐車場契約台数は減少傾向にある。補助金も減少していくと思われるが、他の団地と同様に自動車の所有者が個々に確保すべきと考える。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 この事務量は少ない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 公平・公正である 【理由↓】 他の市営住宅の場合このような補助金はなく、自動車の所有者が個々に駐車場を確保している。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	ゆたか団地駐車場管理組合の組合長には、平成22年度に補助金廃止という結論。よって23年度以降、駐車場組合への補助金交付事業は廃止。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☒ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性、 、 の結果) ☒ コスト削減(効率性、 の結果) (2) 改革改善案について 他の市営住宅との整合性は必要 駐車場は自動車所有者が自分で確保		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☒	☐																					
	低下	☐																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 旧櫛形町時代に町が間に入り駐車場を確保した経緯があるが、他の市営住宅の状況を駐車場経営者や管理組合の人達にも理解してもらい、補助金を廃止して行く方向で、自動車所有者個々に対応してもらうようにする。		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr></table>		成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																							
コスト削減優先度評価結果	対象外																							